

7. 参考文献

- アルモーマン・アブドラー (2021) 『足して二で割れない日本とアラブ世界: 深層文化へのアプローチ』、デザインエッグ社
- 加藤好崇 (2006) 「接触場面における文体・話題の社会言語規範」『東海大学紀要 留学生教育センター』
16、東海大学
- 加藤好崇 (2010) 『異文化接触場面のインターアクション—日本語母語話者と日本語非母語話者のインターアクション規範—』、東海大学出版会
- 熊谷智子・篠崎晃一「依頼場面での働きかけ方における世代差・地域差」『言語行動における「配慮」の諸相』、国立国語研究所
- ネウストプニー (1995) 『新しい日本語教育のために』、大修館書店
- 村岡英裕 (2006) 「接触場面における社会文化管理プロセス—異文化で暮らすとはどのようなことか—」
『日本語教育の新たな文脈—学習環境、接触場面、コミュニケーションの多様性—』、国立国語研究所
- ヤズィード ナーセル (2015) 「接触場面と母語場面におけるサウジアラビア人の再依頼の談話管理—親しい男性同士の友人の会話から—」文東海大学、修士論文
- ヤズィード ナーセル (2022) 「母語場面における日本人とサウジアラビア人の依頼会話—親友同士の談話に着目して—」『東海大学大学院日本語教育学論集』9、pp. 60-70
- 吉田さち (2009) 「韓国人日本語学習者のメール文における『断り』—日本語母語話者との比較を通じて—」
『日本語学習者による言語運用とその評価をめぐる調査研究: 「日本語能力の評価基準・項目の開発」成果報告書』、国立国語研究所
- 吉田さち (2014) 「断りのメール文において韓国人日本語学習者が日本語母語話者と異なる働きかけ方を
するのはなぜか—言語管理理論の枠組みを用いた事例研究を通じて—」『コミュニケーション文化』8、pp. 44-55
- Neustupny, J.V. (1994) "Problems of English contact discourse and language planning" English and language planning : A Southeast Asian contribution (eds. InKandiah, T. and Kwan-Terry, J.) Singapore : Aca-demic Press

本人被調査者は「僕は結構前からお父さんかお母さんからお金をあげるとかあまりよくない」という親からの教育で、親友同士でもお金の貸借をしないほうが良いという母語規範を持っていた。一方、サウジアラビア人被調査者は「そういう時に貸してくれるべきだと思う、親友だから」と言っており、親友同士であれば金銭の貸借は行われるべきだという母語規範を持っていたと言える。

負担度が大きい場面においては、会話例3のフォローアップインタビューで見られたように、S7は「(名前)さんにお金を借りることは最終の選択に思う」と言っており、日本人に10,000円の大きい金額を借りることはしない方がよいという規範を持っていたものと思われる。一方、日本人被調査者はフォローアップインタビューにおいて、「また関係が壊れちゃうとか嫌なので、親友にはあまり行かないかもしれない」と語っている。このことから、J7は親友同士だと、10,000円の大きい金額の貸借はしない方がよいという母語規範があったと思われる。また、会話例4のフォローアップインタビューに提示したように、S7は「お金があって、今すぐ使う必要はなければ、J7は親しい友達だから、貸したいと思った。」と述べている。S7には金銭的余裕と使用予定がないのなら、親友に貸すべきであるという母語規範があったと思われる。加えて、「J7は最近バイトで忙しいのに、10,000足りないと言ってて、大変だと思い、『バイトやってて頑張ってると思うんで』とほめてあげたかった。」とS7は言っており、評価段階では親友をほめるという肯定的な評価をしていた。

本研究では、金銭を借りる場面のみ取り上げ、しかも被調査者も20代の男子大学生に限定し、分析を行った。そのため、今回の考察から日本人とサウジアラビア人に一般化はできないが、日本人は貸借を表す動詞を好む傾向があるため、サウジアラビア人日本語学習者がこの違いを留意するような教授方法を構成する必要があると考える。今回、現れた両母語話者間の相違点を参考にし、今後時間という要因を視野に入れ、また女子大学生との比較を行いたい。

表 3 当該場面における日本人の規範

分類	規範名	規範の存在を裏付けるコメント
母語規範	貸し借り回避規範	僕は結構前からお父さんかお母さんからお金をあげるとかあまりよくないみたい (といわれている)
		同じ立場だと面倒くさいので、奢らないじゃないかな
		親友にお金はそう借りないかもしれない。もう本当に困ったとき、そういう問題が発生したときに、また関係が壊れちゃうと嫌なので、親友にはあまり行かないかもしれない
個人規範	授受動詞の使用制限規範	「あげる」という動詞が今の日本人は否定的に思うかな。下に見ている人たちに渡すことに思える。

6. まとめ

本研究では、ロールプレイ会話を使用し、日本人とサウジアラビア人の金銭の貸借に関わる依頼場面におけるインターアクションの問題を考察した。そして、日常会話に頻繁に出てくる場面を取り上げ、言語管理理論を分析の枠組みとした結果、次のようなことが分かった。

負担度が小さい場面において、会話例 1 に示したように日本人被調査者は、「とりあえず借りるね」と言っており、同じ立場の親友同士だと、奢り合いはしない方がいいという母語規範があったと考えられる。この規範については他のペアの日本人被調査者でも確認されたことから、日本人被調査者は「貸借」を表す動詞を好む傾向があると言えよう。一方、サウジアラビア人被調査者は「返さなくていいよ、今回奢るよ」と言っており、500 円のような小さい金額を借りた場合、それを返すべきではないというアラビア語での母語規範が働いていたと考えられる。この規範については他のペアのサウジアラビア人被調査者でも確認され、サウジアラビア人被調査者は「貸借」を表す動詞を避ける傾向があると観察された。このように日本人とサウジアラビア人はそれぞれの母語規範を接触場面で使用していたことが分かった。また、会話例 2 のフォローアップインタビューに示したように、日

「J7 はゲームが大好きだけど、会話の最初に『ちょっと今困ってて』と言っているから、何があったのかと思ったら、ゲームしかもポケモンゲームを買いたいと言っていた（笑）。でも、お金があって、今すぐ使う必要がなければ、J7 は親しい友達だから、貸したいと思った。J7 は最近バイトで忙しいのに、10,000 足りないと聞いて、大変だと思い、『バイトやって頑張ってると思うんで』とほめてあげたかった。J7 にとって無理でなければ事情が許す限り、返して欲しい。そうじゃなければ、返さなくても問題ない。今までいろいろ手伝ってくれたから。相手がサウジアラビア人であっても、返事は変わらないと思う」

S7 はお金に余裕があり、今すぐ使わないのなら、親友に貸すべきであるという母語規範があったと思われる。親友の J7 は困っている状況にいるから、調整段階で 10,000 円を貸すという調整を選択したと考えられる。また、「J7 は最近バイトで忙しいのに、10,000 足りないと聞いて、大変だと思い、『バイトやって頑張ってると思うんで』とほめてあげたかった。」と述べており、評価段階では親友をほめるという肯定的な評価をしていると捉えられる。

以上、本研究で確認された規範をまとめると以下の表 2 と 3 のようになる。

表 2 当該場面におけるサウジアラビア人の規範

分類	規範名	規範の存在を裏付けるコメント
母語規範	少額の返却不問規範	500 円は大した金額ではないと思う
		10 リヤルを返してとかと言うのは恥ずかしいから（笑）、普通、借りる側は『ありがとう、今度奢らせてね』
母語規範	相互援助義務規範	相手の親友に頼まれたら、断れないと思う。そういう時に貸してくれるべきだと思う、親友だから。もし貸してくれなかったら、ちょっと嫌に思うね
個人規範	日本人からの借金回避規範	もし、本当にこのような場面があったとしても、J7 にお金を借りることは最後の選択にすると思う

オッケーどうぞだったらいいと思う。あげるよじゃなくて、
どうぞだったら、大丈夫だと思う。あげるだと、日本人にと
っては痛いというかそういうかんじかな。まあでも、（名前
）さんは外国人だから、気にしないけどね」

S7はターン12で「はいオッケーあげるよ10,000円」と依頼を受け入れている。J7はこの依頼の受け入れ方に関して、上下関係が感じられるということを行っている。フォローアップインタビューにおける「あげるよじゃなくて、どうぞだったら、大丈夫だと思う。あげるだと、日本人にとっては痛いというか、そういうかんじかな。」というコメントがそれを表している。さらに、J7は親友同士では「お金をあげるよ」のような発話は言わない方がいいという日本語母語規範を強く意識していたと言えるだろう。

要するにJ7はS7の規範からの逸脱に気づき、否定的な評価をしたと考えられる。しかし、接触場面であるため調整段階では特に調整しないという選択をしていたことが分かる。この接触場面にはJ7の母語である日本語が使用されているので、母語の意識がS7より強いということは当然であろう。S7は好意的に「はいオッケーあげるよ10,000円」と依頼を受け入れているのにも関わらず、J7に否定的に評価されてしまったと言える。接触場面の日常会話においては、このようなミスコミュニケーションは少なくないと言えよう。

また、S7はフォローアップインタビューにおいて、次のように述べている。

اعرف انه يحب الألعاب كثير لكن في بداية المحادثة قال: "أنا عندي مشكلة الآن"،
عشان كذا توقعت انه صار له شي وفي النهاية يقول وده يشتري لعبة بكيمنون
(يضحك). ولكن إذا كان معي فلوس وما احتاجها الآن راح أسلفه لأنه عزيز علي
بصرache. بيني وبينك الأيام الأخيرة مشغول مرة في العمل وحسيت ظروفه صعبه يوم
قال محتاج ١٠٠٠٠ ين عشان كذا قلت امدحه وأقول له (اعرف إنك شاد حيلك في
عملك)، وإذا ظروفه تسمح وما فيه كلافه عليه ودي يرجعها. وإذا ظروفه ما تسمح
عادي لو ما يرجعها. لأنه بصرache ساعدني كثير الايام اللي راحت. وحتى لو اللي
قدامي سعودي راح يكون نفس الرد اتوقع.

上記の例は J7 が相手の親友 S7 に 10,000 円を借りる場面だが、S2 はターン 9 で自分の状況を説明し、「10,000 円今だけちょっと貸してもらえないかな？」のように依頼をしていることが分かる。また、J7 はターン 11 で再び自分の状況を説明したり、お金の返却を約束したり、依頼をしている。S7 は、J9 のターン 9 での「貸してもらえないかな？」という依頼に対して、ターン 12 で「バイトやってて頑張ってると思うんで、はいオッケーあげるよ 10,000 円」と、親友の依頼を受け入れている。それについて、J7 は次のように述べている。

「まあ、優先度というか、生活のために必要なものじゃないので、そういう表現を使ったと思う。日本人だと、この表現は意味的に言うと、断られるのが半分、またいいよと言ってくれるのが半分、まあ質問をする時に貸してくれませんかと依頼をする時に半分は相手が断ると分かった上で質問をしていると。貸してもらえないかなと言って、ダメだったら、しょうがないと、貸してもらえてまあ良かったと、幸運だったとかというか、そういう気持ちがあったと思うね」

上記のように、J7 はこのような依頼の仕方を意識的に使用していたということが分かった。J7 は「～かな？」という間接的な頼み方を使用することにより、被依頼者に断る余地を与えている。日本人はこのような頼み方を全ての場面において使用していたが、サウジアラビア人は使用していない。「～かな？」という独り言に近い間接的な頼み方はアラビア語には見られない表現であると思われる。

また、次は「あげる」という S7 が使用した表現に対する、J7 のコメントである。

「『はいオッケーあげるよ』だと、その日本人から、日本人にとっては、ある意味そのまあ、何だろう。お父さんがお金をあげる感覚に近いね。そういう上の人がある立場。やっぱり「あげる」という動詞が今の日本人は否定的に思うかな。若い日本人は「あげる」という言葉がなんかそういう何だろう、ある意味貧乏な人にお金をあげたとか。そういう下に見ている人たちに渡すことに思える。だからこの場合、はい

れない』というコメントからも分かるように否定的評価をしていることが分かる。また、調整段階では親友に貸さないという調整方法を選択したと考えられる。

5.2.2. J7の日本語母語規範に基づく調整実施とS7の母語規範に基づく調整実施

会話例4:

- 1 J7: (名前)さん、(名前)さん。
- 2 S7: おお、久しぶり。元気にしてる？
- 3 J7: 元気です。元気です。ちょっと今困ってて。
- 4 S7: あ、どうした？
- 5 J7: 僕、明日発売のどうしても欲しいポケモンゲーム (笑)
- 6 S7: ポケモンゲーム？
- 7 J7: そう、それをお店で予約したんだけど。
- 8 S7: うんうんうん。
- 9 J7: その限定商品が付いてるやつ。で、それがちょっとお金は今10,000円足りなく
なっちゃって、10,000円今だけちょっと貸してもらえないかな？
- 10 S7: ポケモンのために、10,000円 (笑)
- 11 J7: そうそう (笑)、ちょっと限定のグッズが付いてるやつで、ちょっと今しか買
えなくて、ちょっと来月になっちゃうかもしれないんだけど、給料が入ったら絶
対返すから、ちょっとだけ貸してくれないかな？明日しか買えなくて。
- 12 S7: バイトやって頑張ってると思うんで、はいオッケーあげるよ10,000円。
- 13 J7: ありがとう、じゃちょっと買って来るね。ありがとう、絶対返すから。
- 14 S7: オッケー、楽しいね、ポケモン (笑)
- 15 J7: ポケモンやろうね (笑)
- 16 S7: オッケー。

まあちょっと考えようかなという（笑）。というか、まあ貸す分はいいけど、こっちも後々何だろうな、返してもらいに行くのもあまり好きじゃないし、なんか10,000円どうなったみたいなの（笑）」

「本当にまあ親友で、なんかこの今しか売ってない特別な本とかなんかあったら、10,000円大きいけど、まあ今しかないから貸しちゃうかもしれないけど、インターネット代だったら、違う人に聞いてみてってなっちゃうかもしれないね」

以上のことから、J7は親友同士だと、10,000円の大きい金額の貸借はしない方がいいという母語規範があったと思われる。S7はこの依頼をすることによって、J7の規範からの逸脱を行ったと言える。そして、「インターネット代」という理由で頼まれていることに対し、否定的な評価をしていることも分かった。また、調整段階では「じゃー応他の人に聞いてダメだったら、貸します」のように、拒否をするという調整方法を選択していると説明できるだろう。上記に加えて、J7は親友に借りることに対して、次のように語った。

「僕の感覚では親友には、お金借りるのかなと思って（笑）。どうなんだろう。その親しい人は避けるんじゃないかなっていうのは、あるかなあ、日本人だと。親友はもう最終手段。例えば、僕だと（名前<日本人の親友>）さんいたじゃないですか、（名前）さん。（名前）さんはもう頼まない。他の人に頼んで、本当にダメだったら、（名前）さんに行くと思うね。親友にお金はそう借りないかもしれない。もう本当に困ったとき、そういう問題が発生したときに、また関係が壊れちゃうと嫌なので、親友にはあまり行かないかもしれない」

J7には相手の親友との関係を保つために、あまり金銭の貸借はしないという母語規範があったということが分かる。S7は10,000円を借りたいと発話することで、J7の規範からの逸脱をした。また、「また関係が壊れちゃうとか嫌なので、親友にはあまり行かないかもし

「相手はサウジアラビア人だと、普通にこの頃お金がどうしても必要なんだけど、月末まで使わないお金ある？みたいな感じでももちろん相手にかかる負担を感じているけど、このような頼み方はちょっと日本語で頼みにくい」

الحين يوم شفت المحادثة، انتبهت اني قلت " راح أرجع الفلوس أكيد "، مع إني طلبت منه وقتت له انت أعز أصحابي يا (فلان) (يضحك). وبرضه قال شوف احد غيري (يضحك)، واضح ان الموضوع مستحيل.

「今、会話を見て思ったけど、『絶対返す』と言っていたし、あなたは親友の(名前)さん(笑)だと頼んでいるのに、それでも他の人に聞いてみてと言り返した(笑)、やっぱり厳しいね」

S7は最初の段落に、「(名前)さんにお金を借りることは最終の選択にすると思う」と言っているが、もともと日本人に10,000円を借りることはしない方がいいという規範があったと思われる。しかし、ロールプレイの設定で頼まざるを得ないという状況にあった。また、相手がサウジアラビア人の場合でも、相手にかかる負担を感じるが、日本人が相手であると、より大きい負担を感じるということが分かる。また、ターン10のJ7の「ほかの人に聞いてみて」という返事に対し、あまり肯定的な評価はしていないことが分かった。つまり、S7は母語場面であれば、親友は貸してくれるべきであるという規範を持っていたと思われる。J7の「ほかの人に聞いてみてダメだったら、貸します」という発話によって、S7の母語規範からの逸脱があったと推測できる。しかし、S7は特に調整行動をとっていない。その理由は、そもそも日本人との金銭の貸借はしない方がいいという規範があったからだと考えられる。以上のことから、相手が日本人だということで、母語規範が緩和され、反対に接触場面規範は強化されたと思われる。

一方、J7はフォローアップインタビューにて10,000円を貸す場面やS7の依頼の仕方に関して、次のように述べた。

「10,000、そうですね。10,000円は厳しいけど、その給料日というちゃんとした返還の記述を出してくれているので、

- 5 S7 : それまでは絶対返すので、お願いします。
- 6 J7 : 返してくれるなら、10,000 円かー、他の人は聞いてみた？
- 7 S7 : ほかの人はまだ聞いてない。まあ、一応親友の（名前）さんに聞いてみようか
なつて。
- 8 J7 : そっか、じゃ一応他の人に聞いてダメだったら、貸します
。
- 9 S7 : 分かりました。ありがとうございます。
- 10 J7 : はい、ごめんなさい、他の人に聞いてみてください。はい
。
- 11 S7 : うん、はい。

上記の例は S7 が相手の親友 J7 に 10,000 円を借りる場面だが、S7 はターン 1 で自分の状況を説明したり、お金の返却を約束したりし、最後に「10,000 円ぐらい貸してもらいませんか」と依頼していることが分かる。それに対し、J7 はターン 6 で「ほかの人は聞いてみた？」やターン 8「じゃ一応他の人に聞いてダメだったら、貸します」と他の友達に貸してくれなかったらという条件を置いていることが分かる。そこで、フォローアップインタビューで S7 に確認したところ、次のように語った。

وقت ما يتعلق الموضوع بالفلوس، عندي انطباع ان اليابانيين يهتمون حتى بالمبالغ الصغيرة، عشان كذا كنت متوقع انه مستحيل يسلفني ١٠٠٠٠ ين. حتى لو كان فيه موقف مثل هذا صدق، أتوقع أن اخر شي أفكر فيه اني اتسلف من (فلان).

「日本人はお金の話になると、小さい金額でも気を遣っている印象があるから、10,000 円を貸してくれることは無理かなと思いました。もし、本当にこのような場面があったとしても、J7 にお金を借りることは最後の選択に思う」

إذا كان اللي قدامي سعودي، أتوقع إنني بقوله أنا محتاج مبلغ في هذه اليومين فياليت إذا معك فلوس ما تحتاجها لنهاية الشهر. وأكد راح أحس إنني بثقل عليه لكن عموماً مثل هذا الطلب أتوقع انه صعب أطلبه باللغة اليابانية.

まれたら、断れないと思う。そういう時に貸してくれるべきだと思う、親友だから。もし貸してくれなかったら、ちょっと嫌に思うね」

S4 は最初に相手の J4 の文化では貸借があまり好まれない行為だということを話していた。S4 自身も大学で J4 に対し、ものを頼むのではなく、作業でのお手伝いしか頼まないと言っていた。ターン 5 で「終わったら、ATM とかへ行ったら、ちゃんと下ろして、返すよ」とお金を返却するところは相手がサウジアラビア人だと、「返す」と言わないと語っていた。また、親友同士だと、「貸してくれるべき」だと言っていた。このことから、S4 は親友同士だと、相手が貸してくれるべきだという規範を持っていたと思われる。S4 はターン 4 で「ああ、そっか。500 円かー」という返事を聞いた際に、規範からの逸脱に留意したと考えられる。フォローアップインタビューでは、「もし貸してくれなかったら、ちょっと嫌に思うね」と否定的に評価している。相手はサウジアラビア人だと、上記の規範を適用するということが分かる。しかし、J4 が日本人なので、調整段階で「ちゃんと下ろして、返すよ」という相手の文化への配慮をしているという目標言語規範が顕在化していたと言えるだろう。

5.2. (金・大)

5.2.1. S7 の接触場面規範に基づく調整実施・J7 の母語規範に基づく調整実施

会話例 3 :

- 1 S7 : (名前) さん、あのう今月のインターネット代、えっと、何か支払い期限
10,000 円分払わないと、インターネットが切ってしまうので、えっと給料日まで
返してあげるんだけど、ちょっと 10,000 円ぐらい貸してもらいませんか。
- 2 J7 : 10,000 円かー、給料日はどれぐらいで給料日になりますか。
- 3 S7 : えっと、26 日 27 日ぐらい。
- 4 J7 : ああ、そっかそっか。

「たぶん小学生ぐらいから、なんかこう子供たちで集まって、お菓子買いに行く？とかあのへんじゃないかと思いますね。帰りの時ジュース買う？とか買わない？とか、そういうかんじだったと思いますね」

J4 は最初に子供のころから、金銭の貸借はあまりよくないという親からの教育を受けたことが分かった。J4 は親友同士でもお金の貸借をしないほうが良いという母語規範があったと思われる。ターン1でS2に、「食事代の500円ぐらい貸してもらってもいい？」という依頼を受け、規範からの逸脱に気づき、否定的な評価をしたと考えられる。しかし、接触場面だということで、調整実施はしないという選択をしたと言えるだろう。一方、このような依頼の受け入れ方に対し、S4は次のように語った。

أتوقع ان اليابانيين مو متعودين يُعبروا أو يستعبروا أغراضهم الخاصة لبعض، عشان كذا قلت إني يرجعها له ولكن لو اللي قدامي سعودي وقلت له يرجعها راح يضحك علي (يضحك). وعندي أصدقاء يابانيين في الجامعة وإذا بطلب منه شي تلقاني غالباً ما أطلب منه أغراضه الخاصة، مثلاً: أقوله ياليت تساعدني في كذا أو ياليت تسوي لي كذا شي معين.

「日本人は相手の物を借りたり、自分の物を貸したりすることに慣れていないかもしれない。だから、返すと言ったけど、でもアラビア語で返すと言ったら、笑われちゃうと思う（笑）。大学に日本人の友達はあるけど、例えば何かを頼むときに、ものじゃなくて、これをやってくれないとか、手伝ってくれないとかというお願いししかない」

إذا صاحبي سعودي في الحاله هذي بين الاصحاب اللي يعزون على بعض إذا طلب منك صاحبك فلوس وكان معك مبلغ كافي وما تحتاجه هذي الفترة صعب اترك ترفض. في مثل هالحاله أشوف لازم يسلفني لأنه تعرف صاحبي يعني. وإذا ما أعطاني يمكن آخذ في خاطري منه.

「サウジアラビア人の場合、親友はちょっと余るぐらいのお金を持っていて、その時期に必要なければ、相手の親友に頼

5. 1. 2. J4 の接触場面規範に基づく調整実施・S4 の目標言語規範に基づく調整実施

会話例 2 :

- 1 S4 : (名前) さん、食事代の 500 円ぐらい貸してもらってもいい？
- 2 J4 : 500 円は食事に使うの？
- 3 S4 : 食事、食事。今ここでもう料理貰っているの。
- 4 J4 : ああ、そっか。500 円かー。
- 5 S4 : 終わったら、ATM とかへ行ったら、ちゃんと下ろして、返すよ。
- 6 J4 : あ、そう。じゃ、500 円だったらいいよ。今貸すよ。
- 7 S4 : ありがとうございます。

上記の例は S4 が相手の親友 J4 に 500 円を借りる場面だが、S4 はターン 5 で借りる 500 円を返す約束をしていることが分かる。J4 はターン 6 で「あ、そう。じゃ、500 円だったらいいよ。今貸すよ」と依頼を受け入れてあげたことが分かる。お金を返却する約束は言われる前に、依頼を受け入れられていないという意味が伝わるのだが、これに関して、J4 に確認したところ、次のように話した。

「なんかどうなんですかね、僕は結構前からお父さんかお母さんからお金をあげるとかあまりよくないみたいなのを (笑) まあ、そもそも貸し借り自体があまりよくないよみたいなのは、どうなんでしょう皆さん！でもうちは結構言われることがありましたね」

「理由は何だろう、仲が悪くなっちゃう可能性もあるし、とかんじだと思えますね。また、お金のトラブルだと、また面倒くさくなっちゃったりすることがあると思うので、ということだと思えますけど、結構そういうのがちっちゃいころからありますね」

J4 に親からのこの教育はだいたい何歳から始まったのかと確認したところ、次のように答えた。

規範があったと思われる。S2はこの規範から逸脱したJ2の発話に留意し、否定的な評価をしたと考えられる。それで、ターン8で「返さなくてもいいよ、今回奢るよ」という調整行動をとったと言えるだろう。また、相手はサウジアラビア人の場合、500円のような小さい金額の返却は行わなくていいということが分かった。このことから、S2はアラビア語だと、500円のような小さい金額を借りた場合、それを返すべきではないという母語規範があったと考えられる。

一方、それに対しJ2はターン9で「あ、そう（笑）ありがとう。とりあえず500円借りるね」という返事をした。J2はお金をもらうのではなく、借りることを強調しているということが分かった。フォローアップインタビューで次のように説明していた。

「後輩とかは奢る時、後輩はたぶん奢る（笑う）奢る時がある、時がある。そんなにたぶんないかな、日本たぶん返したい、返さなきゃいけないと思ってる人が多いので、奢られてしまうと、返すのはまた考えるのが面倒くさいし、でも返さなくていいんだけど、やっぱり何かの形で返さないとなあと思っちゃう、対等だったら。後輩とかだったら、まあありがとうございますって感じなんですけど、同じ立場だと面倒くさいので、奢らないじゃないかな」

J2はS2の「返さなくてもいいよ、今回奢るよ」という発話に対し、あまりいい評価はなかったと言える。J2は同じ立場の親友同士だと、奢り合いはしない方がいいという母語規範があったと考えられるだろう。S2は、「返さなくていいよ、今回奢るよ」という発話で、J2の持っている規範から逸脱をしたと考えられる。それで、あまりいい評価をせずに、調整行動まで至ったと思われる。そこで、ターン9で「とりあえず借りるね」という調整行動を行ったと言えるだろう。

قال الياباني "ما معي إلا ٣٠٠ ين" مادري أحس كان دقيق جدا والموضوع مايسأهل. عموما أنا أعرف اليابانيين دائما كذا كلامهم يستخدموا مثلا كلمات فيها تكلف. غير كذا هو جالس يطلب ٥٠٠ ين، لو بالعربي مثلا: إذا معك فلوس ياليت تدفع لي بالله. أو يا (فلان) عطني ١٠٠٠ ين تكفى. بشكل عام يمكن احنا متعودين مانكون دقيقين في كلامنا. ممكن تكون اختلافات ثقافية بيننا وبينهم.

「J2は『300円しか持っていない』などと言って、ちょっと細かすぎると思った。日本人は日常会話でもこのような気を遣った表現をよく使うのは分かっている。500円ぐらいを頼む場面なので、アラビア語だと、例えば、『私の分を払える金額があれば、払って』とか『(名前)君、1000円貸して』みたいな細かくない話し方のほうが私は慣れている、まあ文化の違いだと思う」

بصراحه هو يساعدي في أشياء كثير في الجامعة يصحح لي التقارير قبل ماأقدمها ودايم مايقصر. فمقارمنه بهذي اشوف ٥٠٠ ين ولاشي بصراحه.

「J2は日本語のレポートをチェックしてくれたりして、色々お世話になっているから、それと比べると、500円は大した金額ではないと思う」

S2に相手はサウジアラビア人の場合はどうかと確認したところ、次のように答えた。

إذا كان اللي قدامي سعودي، احراج أقوله رجّع لي ال ١٠ ريال (بضحك)، بالعادة يمكن اللي يتسلف يقول مشكور ويعطيك العافية والمرة الجاية تراك معزوم.

「相手がサウジアラビア人だと、10リヤルを返してとかと言うのは恥ずかしいから(笑)、普通、借りる側は『ありがとう、今度奢らせてね』だと言うと思う」

S2は最初にJ2の頼み方に対して、「細かすぎると思った」とやや否定的な評価をしているということが分かった。S2には親友から500円ぐらいの金額を借りる際、なるべく軽く頼んだ方がいいという母語

الشخص الذي يتلقى الطلب:
الشخص الذي أمامك هو أعز أصدقائك في الجامعة وهو ياباني وتدرسون معاً في نفس التخصص، سيطلب منك طلب، المطلوب منك أن تتخيل الموقف وترد عليه كما لو أن المحادثة حقيقية، قبول الطلب أو رفضه يعتمد عليك أثناء المحادثة.

5. 結果と考察

5.1. (金・小)

5.1.1. J2 と S2 の母語規範に基づく調整実施

会話例 1 :

(以下から J : 日本人、S : サウジアラビア人と表記)

- 1 J2 : (名前) さん、(名前) さん。
- 2 S2 : あ、ヤッホー。
- 3 J2 : ちょっと今このお弁当をレジへ持って行ったら、全部で 800 円で。
- 4 S2 : 800 円 ?
- 5 J2 : 800 円で、僕 300 円しか持ってなくて、で返すのは絶対返すから、500 円借りれないかな今 ?
- 6 S2 : 500 円、食事代だよ。いいよ、大丈夫。
- 7 J2 : そう、ちよっともうレジのところへ持って行っちゃって。
- 8 S2 : うん、じゃ全然いいよ。返さなくてもいいよ。今回奢るよ
- 9 J2 : あ、そう (笑) ありがとう。とりあえず 500 円借りるね。
- 10 S2 : うん、はい、どうぞ。

上記の例は J2 が相手の親友 S2 に 500 円を借りる場面だが、S2 はターン 6 で相手の依頼を受け入れた後、J2 はターン 7 で「ちよっともうレジのところへ持って行っちゃって」と自分の状況を説明していることが分かる。その次のターン 8 で「返さなくてもいいよ、今回奢るよ」と S2 は言っている。J2 は「借りれないかな今？」と頼んでおり、借りたから返却したいという意味が伝わる。しかし、S2 は「返さなくてもいいよ。今回奢るよ」とお金の返却をしなくていいという意味が分かる。そこで、フォローアップインタビューで S2 に確認したところ、次のように語った。

被依頼者：

会話相手は同じ大学に通うサウジアラビア人の親友です。この親友に食堂のレジのところで、あることを頼まれます。普段通りに、会話をしてください。親友からの依頼を受け入れるか、断るかはあなたに任せます。

١. طلب ٥٠٠ ين

الشخص الذي يطلب:

الشخص الذي أمامك هو أعم أصدقائك في الجامعة وهو ياباني وتدرسون معاً في نفس التخصص، نفترض أنكم ذهبتم إلى مطعم في الجامعة، وعند الكاشير أخرجت المحفظة ولم يكن معك نقود وقررت أن تستلف من صديقك ٥٠٠ ين، تخيل الموقف وابدأ المحادثة مع صديقك.

الشخص الذي يتلقى الطلب:

الشخص الذي أمامك هو أعم أصدقائك في الجامعة وهو ياباني وتدرسون معاً في نفس التخصص، نفترض أنك ذهبت مع صديقك إلى مطعم في الجامعة وعندها سيطلب منك طلب، المطلوب منك أن تتخيل الموقف وترد عليه كما لو أن المحادثة حقيقية، قبول الطلب أو رفضه يعتمد عليك أثناء المحادثة.

② (金・大)

依頼者：

会話相手は同じ大学に通うサウジアラビア人の親友です。あなたは今お金に困っていて、どうしても 10,000 円が必要です。そこで、親友に 10,000 円を借りることにしました。その場面を思い浮かべながら、会話を始めてください。

被依頼者：

会話相手は同じ大学に通うサウジアラビア人の親友です。この親友にあることを頼まれます。普段通りに、会話をしてください。親友からの依頼を受け入れるか、断るかはあなたに任せます。

٢. طلب ١٠,٠٠٠ ين

الشخص الذي يطلب:

الشخص الذي أمامك هو أعم أصدقائك في الجامعة وهو ياباني وتدرسون معاً في نفس التخصص، نفترض أنك تمر بضائقة مالية وتحتاج مبلغ ١٠,٠٠٠ ين وقررت أن تستلف من أعم أصدقائك مبلغ ١٠,٠٠٠ ين، تخيل الموقف وابدأ المحادثة مع صديقك.

、ZOOMのチャット機能を使い、被調査者の母国語で送った。尚、日本語で行われる会話のため、日本人の大学生の発話に影響を受けないよう、最初にサウジアラビア人の大学生に依頼役をしてもらった。サウジアラビア人は依頼役が終わった後交代し、日本人の大学生に依頼役をしてもらった。収集したデータを文字化し、一週間以内に3ペアのフォローアップインタビューを行った。日本人被調査者及びサウジアラビア人被調査者の属性は表1で述べる。また表1のJは日本人、Sはサウジアラビア人の被調査者の記号として表記する。

表1. 日本人被調査者の所属と学年と性別と年齢

	被調査者 (J)	被調査者 (S)	所属	学年	性別	年齢
1	J1	S1	東海大学	4年生	男	20代
2	J2	S2	東海大学	4年生	男	20代
3	J3	S3	東海大学	4年生	男	20代
4	J4	S4	東海大学	3年生	男	20代
5	J5	S5	東京工科大学	3年生	男	20代
6	J6	S6	神奈川工科大学	4年生	男	20代
7	J7	S7	北海道科学大学	3年生	男	20代

表1に提示したように、データをとった順番でJ1とS1等のように番号を付けた。また、上下関係等のような会話に及ぶ影響を考慮し、所属と学年と性別とおおよその年齢を統一した。3年生と4年生を対象とした理由は、サウジアラビア人の留学生が来日して、日本語学校での日本語の学習期間を含め、およそ4年経過したことによって一定の日本語能力を身につけた段階であると考えられるためである。

実際に使用した日本語とアラビア語のロールプレイカードを①（金・小）親友に500円を借りる場面、②（金・大）親友に10,000円を借りる場面として以下に示す。

① （金・小）

依頼者：
 会話相手は同じ大学に通うサウジアラビア人の親友です。あなたはこの親友と食堂へ行きました。レジのところで財布を出したら、現金がありませんでした。そこで、親友に500円を借りることにしました。その場面を思い浮かべながら、会話を始めてください。

また、加藤（2006：2）によると、規範は規範の選択領域から、次の六つに分けられるとしている。

一般的に参加者は、「母語話者側では、母語規範。（相手の言語や文化などを知っている場合）相手言語規範、（英語などの）他言語規範個人規範、共通規範（比較的ユニバーサルな、少なくとも当該接触場面の参加者が共通して持っている規範）、接触場面規範（先の規範を緩和・強化した規範や接触場面用の新規範）が、非母語話者側では、自国の母語規範、目標言語規範（日本語接触場面では日本語規範）、他言語規範、共通規範、接触場面規範（母語話者と同様の規範の他、目標言語規範の中間言語も含む）」が内在している。

本研究では、日本人とサウジアラビア人が依頼者又は被依頼者になった場合に、依頼会話における問題の根源を探ることを目的とするので、言語管理理論を使用する。よって、ロールプレイの会話を収集した後、フォローアップインタビューを通し、日本人とサウジアラビア人の抱えている様々な規範を明らかにすることができる。相手の依頼の仕方もしくは受け入れ方などに問題があった場合に、規範から逸脱があったと見ることができる。そこで、評価段階で中止したか、または調整段階に至ったか、これらの理由も明らかにしながら、分析していく。

4. 研究方法

本研究ではロールプレイ会話によるデータを収集した。表1に示したように、日本人とサウジアラビア人被調査者から2022年2月から3月にかけて日本の大学生それぞれ7人計14人7ペア（全員20代）の協力を得た。ロールプレイ会話はネット上で行ったが、自然な会話を得るために、親しい関係の日本人の大学生と日本の大学へ留学しているサウジアラビア人を対象とした。サウジアラビア人は来日4年以上で、日常会話には問題ないレベルである。許可を得た上で、筆者は被調査者の母語（日本語とアラビア語）で研究内容と研究目的と所要時間等を説明した。また、ロールプレイ会話はレコーディングし、会話中ビデオの使用は被調査者に任せた。ロールプレイカードに関して

3. 理論的枠組み

本研究では、言語管理理論 (Neustupny 1994) を枠組みとし、分析を行う。言語管理理論を使用した接触場面の研究は多く行われている (加藤 2005、2006a、2006c、2006d 等)。加藤 (2010、12) によると、言語管理のプロセスは以下の図 1 で示している。

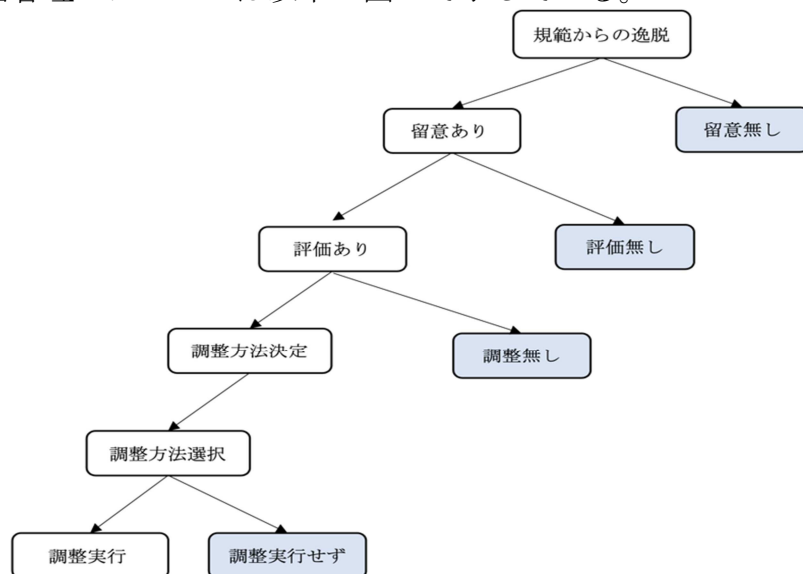


図 1. 言語管理のプロセス (加藤 2010 : 12)

加藤 (2006) は規範を「実際のインターアクション場面において適応されている行動規定」と定義しているが、本研究でもこの定義を使用する。ネウストプニー (1995a) は、言語管理のプロセスを以下のように説明している。

- ・ 言語管理のプロセスはある場面の規範からの逸脱に始まる。
- ・ そこで、会話参加者に留意される場合と、そうでない場合がある。
- ・ 留意して、その逸脱を評価する場合と、そうでない場合がある。
- ・ その評価は肯定的もしくは否定的 (問題) になることがある。
- ・ その逸脱は問題として捉えると、調整が設定される場合とそうでない場合がある。
- ・ 最後の段階でその場で調整をするか、あるいは調整を中止したり、延期したりする場合がある。

があると考えられる。一方、接触経験が長いサウジアラビア人の特徴的な例は4人のうち1人が再依頼を行っていない例である。そのサウジアラビア人は日本に約7年住んでおり、日本の滞在期間が一番長い。接触経験が長くなると、相手に配慮するようになり、語用論的転移が消えていくサウジアラビア人がいると思われる」(ヤズィード 2015 : 40)

以上の研究によると、接触経験が短いサウジアラビア人日本語学習者は日本人とのインターアクションの時に母語による依頼の仕方が表れるということである。一方、接触経験が長くなるにつれて、母語干渉がだんだん消えていくことが観察される。

ヤズィード (2022) は談話完成テストを使用し、日本人とサウジアラビア人の母語場面における依頼会話の意味公式と出現順序を考察し、次のように結論づけている。

「金銭の場面において、サウジアラビア人の『大学生は私の分を払ってください』や『300リヤルをもらえない?』等のように親友にお金を貸してもらう時に、アラビア語で貸借を表す動詞はあまり使用しない傾向があると分かった。アルモメン (2010) では、『アラブ人は友達の頼み事を断らない傾向がある』と指摘している。(中略) サウジアラビア人は金銭の場面において、貸借を表す動詞はあまりしない理由としては、相手が親友だから、受け入れてくれると期待をしているからだと考えられる」(ヤズィード 2022 : 68-69)

先行研究では日本人とサウジアラビア人の母語場面における再依頼や母語場面における依頼の意味公式などに焦点を当てるものであった。日本人とサウジアラビア人日本語学習者のインターアクションを行う場面、すなわち接触場面における問題は考察されていない。そこで、本研究では接触場面を観察対象にし、両母語話者が会話中に感じ取った摩擦や誤解等について考察する。本研究ではロールプレイによる会話を使用し、親友同士の金銭を借りる場面の問題を設定した。分析は、言語管理理論 (Neustupny 1994) を用いる。

日本の大学に留学しているサウジアラビア人はキャンパス内外で日本人と会話をする場面（接触場面）がある。そこで、お互い頼みごとをしたりされたりするのだが、このような依頼場面の会話は誤解せずに円滑に行われているかが疑問である。また、サウジアラビアの首都であるリヤドには、キングサウド大学があり、同大学の言語翻訳学部には、湾岸（GCC）唯一の日本語学科がある。ここでは、サウジアラビア人大学生は日本語・日本文化を4年間専門として勉強することができ、毎年およそ20人の新生が入学する。学部在籍中に日本人の教員やリヤドにある日本人学校の方々等と交流する機会があるが、その中でも、様々な依頼場面が生じることが考えられる。そこで、本研究ではロールプレイ会話を通し、日常生活で頻繁に出てくる依頼場面の問題点を明らかにし、比較検討する。

2. 先行研究と研究課題

先行研究では、日本人と様々な国籍の日本語学習者の依頼会話をあらゆる面から考察したものが多く、ただし、その日本語学習者の国籍を見ると、中国をはじめ、韓国、台湾、ベトナム等の東南アジアの日本語学習者に焦点を当てる研究がほとんどである。他にも、アメリカやオーストラリア等のような政治的に日本と強いつながりの国々の日本語学習者を対象としている研究が少なくない。地理的な理由は大きいかもしれないが、一般的に言うと、様々な分野において、日本人とサウジアラビア人を対象としている研究はほとんど行われていない。その中で言語学、特に両母語話者の発話行為に焦点を当てている研究が非常に少ないのが現状である。

数少ない研究の中で、ヤズィード（2015）はロールプレイ会話を使用し、日本人とサウジアラビア人の接触場面における再依頼を意味公式から次のように明らかにしている。

「接触場面に関しては、接触経験が短いサウジアラビア人の特徴的な意味公式は【相手との関係の強調】である」と言っている。この意味公式の例に関して、「友達になったでしょう」や「僕は友達でしょう」等のような発話だと報告している。加えて、「接触経験が短いサウジアラビア人は再依頼をする際、相手との友情を強調するストラテジーを使う可能性

接触場面における日本人とサウジアラビア人の金銭 の貸借依頼会話 —言語管理理論の観点から— ヤズィード ナーセル^(*)

1. はじめに

アルモーメン (2017) は、「ここ数年、日本とアラブ諸国の経済または科学技術の交流が徐々に深まっていくにつれて日本人とアラブ人の接触する機会が増えている。ただ、確かにそうなのだが、言語と文化の壁により、互いの社会の情報を完全に理解できず、受け入れられないことがある」と述べている。この指摘のような以下の事例を筆者も実際に日本で経験したことである。ある日、親しい関係の日本人とサウジアラビア人の大学生の会話を聞いていた。サウジアラビア人は日本語で書いたレポートの文法を日本人の親友にチェックしてもらいたかった。その際「おばあさんの家に行くから、できないよ」と直接断った。そこで、サウジアラビア人は「じゃ、おばあさんの家に行ってもいい？」再び頼んだという会話であった。私は傍らで聞いていたが、このような頼み方はサウジアラビア的であり、アラビア語の干渉があるのではないかと感じた。サウジアラビアの社会では祖母や祖父の家は広く、多くの来客もあるし、孫は友達を呼んでいいことになっている。サウジアラビア人の立場として、相手の日本人は祖母の家に行くということで、時間がないのだろうと理解し、祖母の家に行っていきたいと思ったと思われる。要するに、日本人の都合を考えて、好意を持つ言い方だと思っているのにもかかわらず、日本人には凶々しいなどと思われる恐れがあるのではないかと感じた。接触場面において、社会や文化の違いによってこういった誤解や摩擦がたくさん起こり得るだろう。

*-東海大学院文学研究科日本文学科博士課程後期

باحث دكتوراه بكلية الدراسات العليا للآداب - مدرسة توکاي للدراسات العليا بدولة اليابان